

町立保育園の現状
Q 保育士不足が気になる。また、3施設とも老朽化も見られるが。

A 平成29年度から民間保育移行庁内検討委員会を立ち上げ、研究しています。今後の国の動向等にも対応し、よりよいものにしていきます。

ユネスコ登録から3年余り 和紙製品の展開を

Q 待望の新商品はできたのか。
A 細川紙技術者協会がパスポートケースやカードケースを、小川和紙工業協同組合はコースターを、ともに和紙製で作製しました。イベント等でテスト販売をする予定です。

町者を、どのように町内のお店に滞在していただくかが課題です。
耕作放棄地解消
Q 農地として利用がされていない土地への対策は。
A 耕作放棄地改善のため、小川町地域耕作放棄地対策協議会と農業委員会が調査を行なっています。八和田地区で約600坪、大河地区で約750坪が農地として再生が図られました。

第5回埼玉酒蔵めぐりin小川町

Q どのような課題が見えてきたのか。
A 池袋駅にて出発式、酒蔵めぐりのヘッドマークをつけた車両を運行するなど、東武鉄道に全面的な協力を得ることができました。酒蔵めぐりを終えた来

Q 雑紙の回収を工夫するなどして、約600万円の削減を考えています。
特定外来生物
Q アライグマの捕獲数が平成28年度に比べ33%減っていたよ



和紙が持つ手づくり感満載の新商品が完成しました。地酒とともに、当町を訪れた記念やお土産に、また贈り物として活用されたらステキですね。

うだが。
A 捕獲数は平成28年度に比べ100頭減の193頭です。捕獲により繁殖が減少していると推測しています。

オガワンプロジエクト

Q 発足初年度、何を実施したのか。
A 対象商品に貼付するステッカーを認定業者へ無償配付しました。プロモーション活動として小冊子「オガワンプレス」を配布環境省アンバサダーの長沢 裕1さんを起用し、フェイスブックを活用した情報発信をしました。

比企河川合同水質底生生物調査

Q 安心安全に資するため、どのような調査がされているのか。
A 比企地区の市町村を流れる河川の上流から下流まで、毎年1回水質と底生生物の調査を実施します。平成29年度は調査した3河川とも基準値未満であり、異常はありませんでした。

平成29年度特別会計決算に関する質疑

国民健康保険

Q 人口減に伴い加入者数、保険収入も減ってきている。しかし、黒字になっているが、どのように理解すればよいか。
A 加入者の50%を占める前期高齢者交付金が、平成28年度から約1億円増加しました。また、この前期高齢者1人当たりの総医療費が、県内63市町村中59番であり非常に低く抑えられていることも要因であると考えます。本来なら保険税の見直しをすべきでしたが、平成30年度の制度改正に合わせて見直しをしました。
Q 保険給付費不用品が多いが、特定健診と眼底検診の両方を一カ所で受診できる医療機関が少なく、眼底検診だけ未受診となるケースがあり不用品が出ました。今後は眼底検診の推進をしていきます。

介護保険

Q 小川町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の第6期の最終年度となる平成29年度の目標達成と第7期に向けた総括は。
A 地域包括ケアシステムの構築・認知症施策の構築・在宅医療・介護連携推進体制の構築が目標でした。おおむね達成できたと考えます。第7期はそれを足掛かりに、認知症対策やリハビリの強化、フレイル予防に力を入れていきたいと考えます。

下水道事業

Q 接続率向上に改善が見られないが、その理由と対策は。
A 「建物に住まいとして相続しない」「合併処理浄化槽を設備している」など理由はさまざまのようです。供用が開始される地区にて説明会を実施し、接続を促していきます。

元気な農業応援事業として「町内産の野菜のブランド化」を支援。4つの認定ロゴマーク、OGAWA' N「ネイチャー」「ナンバーワン」「ネイチャー-BIO」「ナンバーワンBIO」のステッカーの貼ってある商品は、直売所やスーパーでお買い求めいただけますよ。



スタンドつき町民野球場の実現を自分が生きている間に見たい。



(M・Mさん・68歳)

解説 長沢 裕さん1

福島県生まれの24才 フリーアナウンサー、タレントとして活躍中。ZIP! (日本テレビ)、趣味の園芸 (NHK) 等に出演。



(K・Oさん・57歳)

若者が就職したくなる魅力的な職場が小川町にあるといいね。

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」